



# いずみ野



令和2年3月25日発行  
発行責任者 校長 松藤 朋治

## 愛情と感謝 ～ 持続可能な社会へ向けて ～

校長 松藤 朋治

「学校に来ないで、家に居ましょう。」

まさかこんな言葉を子供たちに発する日が来るなんて思ってもいませんでした。しかし、現実のものとなってしまい、残念な気持ちでいっぱいです。視野を広げて長期的・俯瞰的に考えるとこういった対策も仕方ないことなのですが、各ご家庭で子供たちはいかがお過ごしでしょうか。

19日の卒業式も、感染拡大防止のため卒業生と教職員のみで行うことを余儀なくされてしまいました。さりとて、制約の中にも心のこもった式にしようと精一杯の気持ちで準備を行い、臨みました。卒業式は「儀式的行事」の位置付けにあるので例年なら何回も厳粛な練習をするのですが、式の前に簡単な説明だけのリハーサルしかできませんでした。しかし、子供たちは立派でした。いわゆる“ぶっつけ本番”の卒業式でありながら、緊張感と集中力で例年と遜色なく証書を受け取り小学校生活最後の学習を締めくくることができたのです。校長式辞でも、私と相對する卒業生一人一人の真剣な眼差しが私の目に飛び込んできました。「どんな困難にもめげずに、この先の人生を一生懸命歩いていく。」・・・そういった固い決意のようなものが感じられ、頼もしく思いました。きっと、生涯忘れられない卒業式になることでしょう。

卒業式の式辞でも述べたことですが、本校の子供たちは、多くの方々から様々な愛情を受けて育っています。保護者をはじめ、学援隊の方々、義一さんや正美さん、ボランティアの方々、P S Iの方々、ブックレンジャーの方々、地域の方々、先生方など、・・・枚挙にいとまがありません。そして、愛情を受けた子供たちは感謝の気持ちをもって応えています。愛情⇒感謝⇒愛情⇒感謝というように人と人が大切にし合う関係、すなわち「パートナーシップ」ができています。国連が定めた2030年までに世界が達成すべき17の目標SDGsの17番「パートナ

ーシップで目標を達成しよう」に満ちあふれた小学校、いずみ野小学校。人と人がお互いを大切にし合う関係は、発展させれば国と国とがお互いを大切にし合うこととなります。新型コロナの問題で改めて地球の平和を持続させることの大切さに目が向けられていますが、本校では、今後もSDGsを達成すべく、持続可能な社会の担い手を育てていきます。引き続き、皆様のご理解ご支援をお願いいたします。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

